





イラストは UB-5335 です。 スタンドは別売品です。



電子黒板 (パナボード)

品番 UB-5335 UB-5835



工事説明書別添付

保証書別添付

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4 ~ 9 ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■本製品の特長

UB-5335 / UB-5835 はフィルムボードタイプの電子黒板です。UB-5335 は標準タイプ、UB-5835 はワイドタイプの仕様です。

スクリーンにフィルムを使用していますので、2 画面を簡単に切り替えて、以下の機能を使用することが できます。

プリンターへの印刷

電子黒板に書いた文字や絵をモノクロで読み取って内蔵プリンターに印刷することができます。

USB フラッシュメモリーへの読み取り

電子黒板に書いた文字や絵をモノクロで読み取って USB フラッシュメモリーに保存することができます。*¹ ※1 セキュリティ機能やハブ機能を持つものなど、すべての USB フラッシュメモリーでの動作を保証す るものではありません。

コンピューターインターフェース機能

USB 大容量記憶装置デバイス対応により、専用のドライバーやソフトウェアをコンピューターにインストールする必要がなく、コンピューターを接続するだけで電子黒板に書いた文字や絵をモノクロでコンピューターに読み取ることができます。

電子黒板には読み取った画像を10ファイルまで保存することができます。

■本書の表記について

操作上お守りいただきたいことなど、大切な情報を次のマークで表しています。

| <u>お願い</u> | 操作上、お守りいただきたい重要事項や、禁止事項を記載しています。 必ずお読みください。 | |
|-------------|--|--|
| <u>お知らせ</u> | 操作の参考となることや補足説明を記載しています。 | |
| | ○○ ご覧いただきたい参照ページを記載しています。 | |

■商標および登録商標について

- Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の 国における登録商標または商標です。
- IBM は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標または商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。
- This software is based on the "libtiff" which has the following copyrights: Copyright (C) 1988-1997 Sam Leffler Copyright (C) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

■事故・損傷における免責事項

本製品は、トレーニングを受けたサービス技術者による設置工事が必要です。正しく設置されなかった場合などの事故および製品の損傷に対して、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめ ご了承ください。

はじめに

| 安全上のご注意 | 4 |
|------------------|----|
| 正しくお使いいただくためのお願い | 10 |
| 付属品の確認 | 13 |
| 各部のなまえとはたらき | 14 |

使う

| お使いになる前に 転写フィルムを取り付ける 記録紙をセットする | | •••• | 18 18 19 |
|---|-------------|------------------------|-----------------------------------|
| 読み取る プリンターに複写する 転写フィルムを交換する 記録紙が詰まったとき USB フラッシュメモリーに読み取る コンピューターに読み取る | · · · · · · | •••• ••••• ••••• | 20 21 22 23 23 |
| 本体を移動する | · · · · | | 25 26 |
| 設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | ••• | 28 |
| 基本設定のしかに | ••• | | 28 |
| ・ | • • • • | | 20 |
| | | | טכי |
| ・ ファイルル式設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | • • • • | | 29 29 |
| ・ ファイルル式設定 ・ 自動パワーオフ設定 ・ 出力サイズ設定 | | | 29 29 29 |

困ったとき

| 日常のお手入れ |
|---|
| • スクリーンフィルム面・本体部のお手入れ |
| • イレーサー(黒板消し)のお手入れ |
| • プリンターヘッド部・プラテンローラー・給紙ローラーのお手入れ31 |
| • 電池交換 |
| 故障かなと思ったとき(簡単なトラブル点検)33 • こんな表示が出たら |
| 仕様 |
| • 別売品 |
| 保証とアフターサービス |

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

(次は図記号の例です。)



してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。





▲ 警告



安全上のご注意



安全上のご注意



使用中 ■ 長時間マーカーを使用するときは、 換気をよくする インクの臭いにより気分が悪くな ることがあります。 ■ 湿気やほこりの多い場所では使わない 火災・感雷の原因になることが あります。 禁止 ■ 必ず付属の電源コードを使用する 付属以外の電源コードを使用すると 火災の原因になることがあります。 ■ 本機を移動するときは、必ず2人で行う (オプションのスタンドをご使用の場合) 転倒して、けがをするおそれが あります。 ■ 倒したり、機器を破損した場合は、 電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・ 感電の原因になることがあり ます。 雷源プラグ を抜く ● 使用を中止し、お買い上げの販売店に ご相談ください。 ■ 持ち上げたり、寄りかかったり、ぶら 下がったりしない 傾いたり、倒れたり、壁からはず れたりして、けがの原因になるこ とがあります。 禁止

■ マーカーを使い切っても、火の中に 捨てない



臭いにより気分が悪くなることが あります。

■ 不安定な場所に置かない



倒れたりして、けがの原因になる ことがあります。

■ トレイに水などの入った容器を置かない



水などがこぼれて機器にかかると、 火災・感電の原因になることがあ ります。

■ 使用中は足元を確認する(オプションのスタンドをご使用の場合)



スタンドの脚につまずいて、けがを するおそれがあります。

■ 機器を移動させる場合は、必ず電源 プラグをコンセントから抜く



電源プラグ

を抜く

コードが傷つき、火災・感電 の原因になることがあります。

■ 設置時または移動後は、キャスターを ロックする(オプションのスタンドを ご使用の場合)



動いたり、倒れたりして、けがの原因に なることがあります。

安全上のご注意





落下してけがの原因になります。

はじめに

9

正しくお使いいただくためのお願い

■使用場所について

- **直射日光の当たる場所や、ストーブ、冷暖房機の吹出口の近くに置かないでください** スクリーンフィルム面が伸びたり、変色します。
- **直射日光や強い光の当たる場所に置かないでください** 正しく複写できないことがあります。
- 10 ℃以下の場所や、急激な温度変化のある場所では使用しないでください 複写しても写らないことがあります。

■スクリーンフィルム面について

- 複写可能範囲内に、太く濃く書いてください 右図の網掛け部分は複写できません。
- 書いたまま長時間放置しないでください 消えにくくなります。
- 汚れのひどいイレーサー(黒板消し)で消さないでください
- スクリーンフィルム送り中は、手を触れたり、マーカーで 書いたり、イレーサー(黒板消し)で消さないでください 故障の原因になります。
- 0 mm 復写可能範囲 25 mm

25 mm

• スクリーンフィルム面にチャート紙を貼り付けてコピーしないでください 故障の原因になります。

■マーカー・イレーサー(黒板消し)について

- 消去性能保持のため、付属品または別売品 (☞38 ページ)を使用してください 市販の油性マーカーなど、付属品または別売品以外を使用すると、スクリーンフィルム面を傷つけたり、 消えにくくなることがあります。
- マーカー使用後は必ずキャップを締め、水平に保管してください 上向きに保管すると、インクが出なくなることがあります。
- マーカーを強く振ったり、落としたりしないでください
 インク噴き出しの原因になります。
- マーカーは、筆記および描画以外には使用しないでください 破損するおそれがあります。
- マーカーを高温の場所に放置しないでください
 インクが漏れるおそれがあります。

■転写フィルムについて

- 転写フィルムを温度変化の激しい場所(エアコンや暖房機の近くなど)に置かないでください 転写フィルムが結露し、印字不良や紙詰まりの原因になります。
- 別売品の転写フィルム(UG-6001)1本の長さは、約50mです 転写フィルム1本で約150枚複写できます 複写枚数は、使用状況によって異なります。付属の転写フィルムは長さが短いため、別売品とは複写枚 数が異なります。別売品を準備することをお勧めします。

記憶内容保存のお願い

コンピューターの記憶装置は、使用誤りや静電気・電気的ノイズ・振動・ほこりなどの影響を受けた とき、また故障・修理や使用中に電源が切れたとき記憶内容が変化・消失する場合があります。 ご使用に際しては、USB フラッシュメモリー・コンピューターの取扱説明書に記載された注意書きを よくお読みください。

なお、次のことを必ずお守りください。

USB フラッシュメモリーにデータを記憶させたときは、スクリーンフィルム面に書かれた文字や絵を消去する前に、記憶させたデータが間違いなく保存されていることを他のコンピューターなどで確認してください。

• 重要な内容は必ずデータをバックアップし保存するか、原紙を保存してください。 使用誤りや外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきまして、当 社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

USB フラッシュメモリーを廃棄または譲渡するときのお願い

コンピューターの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、USBフラッシュメモリー内のデータは完全には消去されません。

廃棄または譲渡の際は、USB フラッシュメモリー本体を物理的に破壊するか、市販のコンピューター 用データ消去ソフトなどを使って USB フラッシュメモリー内のデータを完全に消去することをおす すめします。

USB フラッシュメモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

■法律で禁じられていること

次のようなコピーは法律により罰せられますから充分ご注意ください。

- 法律でコピーを禁止されているもの
 ① 国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
 ② 未使用の郵便切手、郵便事業株式会社製の郵便はがき
 ③ 政府発行の印紙、酒税法や物品管理法で規定されている証紙類
- 注意を要するもの
 - (1)株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最 低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。
 - ② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券 などの切符類のコピーも避けてください。
- 著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭 内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

はじめに

■ご使用の前に

付属の電源コードは本機器専用です。他の機器には使用しないでください。

アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。 また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。 アース線接続ができない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。 アース工事については、本製品の価格には含まれておりません。

電源プラグは、抜き差しが容易にできる近くのコンセントに接続してください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

製品に貼られている安全上の警告表示ラベル

本機には安全にお使いいただくために次のようなラベルが貼ってあります。内容をよく読み、安全にお使いください。



付属品の確認

以下の付属品がすべてそろっているか、ご確認ください。 万一不足の品がありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

付属品一覧

| ☑ 取扱説明書 | (本書)1 |
|----------|--------|
| □ 工事説明書. | 1 |
| □ 電源コード | (約3m)1 |
| □ A4 普通紙 | |
| □ 保証書 | |
| | |

<消耗品>

| □ 転写フィルム | 1 |
|-----------------------|---|
| □ リチウム電池 (CR2032 タイプ) | 1 |
| □ マーカー (黒) | 2 |
| □ イレーサー (黒板消し) | 1 |

• 消耗品については、別売品を用意しています。別売品番などの詳細は、☞38ページ。

リチウム電池は本体に内蔵されています。電源キーを押して電源を入れたときに設定時刻がリセットされる場合は、同タイプのリチウム電池(市販品)と交換してください。
 リチウム電池の交換方法は、☞32ページ。

各部のなまえとはたらき



■操作パネルについて 2 10 1 4 6 \bigcirc 8 9 ╘ 늡 88 ©∕⊚ (\mathbf{h}) \bigcirc ŧ 12 I Ð ► V 5 3

| 番号 | パネル | なまえ | はたらき | |
|----|-----|-----------------|---|--|
| 1 | ¢ | 電源キー | キーを押すごとに、電源オン/オフを切り替えます。 | |
| 2 | - | フィルム残量 表示ランプ | 転写フィルムの交換時期(目安)をお知らせします。(18721ページ) 消灯時: 印刷できます。 点滅時*: 転写フィルムの交換時期が近づいています。 (点滅を始めると、残りの複写可能枚数は約15枚です) 本機をお買い上げの販売店で、別売品(18738ページ)を お求めください。 ※ いったん電源を切ったり、プリンター部を開閉すると点滅が消えて しまいます。(複写を行うと、再度点滅を始めます) | |
| 3 | 88 | 表示窓 | プリンター出力時: 複写枚数(1~9)が表示されます。 を押すごとに、表示が変わります。 例:1→2→・・・→9→1→・・・ USB フラッシュメモリー出力時: "[]]]"が表示されます。 コンピューター出力時: "[]["が表示されます。 エラー発生時: エラー状態を表す記号(☞ 35~36ページ)が点滅します。 表示窓の数字が点滅しているときは、印刷データがあります。 | |
| 4 | | 濃度表示 ランプ | 複写時の濃度をお知らせします。 ● 消灯時: 濃度は標準です。 ● 点灯時: 濃度は標準より濃くなります。 | |
| | | | キーを押すごとに、複写時の濃度を切り替えます。(標準 / 濃い) | |
| 5 | J. | ● 濃度切替キー | 動作エラー U23 ~ U26 および U31 ~ U33(☞ 35 ページ)の エラー表示を解除します。 | |
| | | | 設定モードのとき:レディモードに戻ります。(☞28ページ) | |

各部のなまえとはたらき

| 番号 | パネル | なまえ | はたらき | |
|-----------|-----------|------------------|---|--|
| ଭ | | x± | 本機の設定を変更します。(設定モードに入ります)(11828 ページ) | |
| | | | 設定モードのとき:設定する項目や数値を選択します。(☞28ページ) | |
| 7 | 7) 12 2 画 | 2 画面複写 キー | スクリーンフィルム面の表側と裏側を 1 枚に並べて複写します。 (☞20 ページ) | |
| | | т | 設定モードのとき:設定する項目や数値を選択します。(☞28ページ) | |
| | Ē. | マルチコピー / 中止キー | プリンターを使用して複写する枚数を設定します。表示窓に希望枚数が 表示されるまでくり返し押してください。(☞20 ページ) | |
| (8) | | | 複写中に押すと、複写を中止します。 | |
| | | | 設定モードのとき:各項目の設定を切り替えます。(11828ページ) | |
| 9 | | 正転送りキー | スクリーンフィルム面が右から左へ送られ、表側と裏側が入れ替わりま す。 | |
| 1) 言 複写キー | | 複写キー | 表側のスクリーンフィルム面が複写されます。 • プリンター出力時: 複写中の枚数表示は、一度" ^[] "になって" "に戻ります。 例:5→4→3→2→1→0→1 (マルチコピーでは複写されるごとに、枚数がカウントダウンされます) • USB フラッシュメモリー出力時: " ^[]]"が一度" ^[] "になって" ^[]]"に戻ります。 • コンピューター出力時:" ^P _c "が一度" ^[] "になって" ^P _c "に戻り ます。 | |
| | | | 複写中にプリンターエラーが起きたとき、エラーを解除したあと印刷を 再開します。 マルチコピー中に記録紙がなくなった場合は、記録紙を補充し複写 キーを再度押してください。残りが印刷されます。 印刷中のプリンターエラーU11~U14(mag35ページ)を解除し、 複写キーを再度押して印刷を再開します。 | |

電源の動作モードと設定モードについて

| モード | 表示窓 | モードの説明 |
|--------------|--------------|--|
| アクティブ モード | 数字点灯 表示点滅 | 複写キーまたは2画面複写キーを押して読み取りを行っている状態です。 |
| レディモード | 表示点灯 | 操作パネルの電源キーを押して電源が入っている状態です。待機状態を表し、読み取りや設定の操作ができます。 |
| オフモード | (表示なし) | 操作パネルの電源が入っていない状態です。電子黒板がレディモードまた は設定モードのまま約1時間経過すると、自動的にオフモードになります。 コンピューター接続時や、フィルム残量表示ランプが点滅しているとき は、自動的にオフモードに移行することはありません。 |

はじめに

お使いになる前に

転写フィルムを取り付ける 1 電源コードをコンセントに差し込み、 電源キー 0 を押す • スクリーンフィルム面がホーム位置以外の場 合は、ホーム位置まで移動して停止します。 表示窓に2けたの数字が表示される場合は、 時刻設定が必要です。 (☞ 30ページ 手順 4) • 表示窓に、転写フィルムがないことを表す *"¦」 ←⇒ 行" が*点滅します。 **2** プリンター部開レバーを下げ、プリン ター部を開ける プリンター部 開レバー プリンター部 3 転写フィルムを取り付ける ① 転写フィルムの青色ギアを手前右側にする。 ① 青色軸を手前左側の穴に差し込む。 ③ 青色ギアを手前右側の溝に取り付ける。 ④ 白色軸を奥の左右の溝に取り付ける。 (2) 青色軸 白色軸 青色軸 (1)青色ギア 3 青色ギア

4 転写フィルムのたるみを取り除いて、 プリンター部を閉める

- 青色ギアを矢印方向に回し、転写フィ ルムのたるみを取る。
 - たるみがあると、転写フィルムにしわが でき、記録紙に印字抜けや線がでること があります。



- ② プリンター部を「カチッ」と音がする までしっかり閉める
 - 表示窓の"!! ←→ !?"の点滅が消えます。



<u>お願い</u>

- プリンター部を閉めても"Ⅱ ↔ ??" の点滅が消えないときは、転写フィルム にたるみがあるか、または正しい位置に 取り付けられていません。
 転写フィルムのたるみおよび取り付け位 置が正しいかを確認してください。
- プリンター部が閉まっていないと正しく 複写できませんので、両方のラッチが掛 かっていることを確認してください。

お知らせ

 付属の転写フィルムは長さが短いため、 別売品とは複写枚数が異なります。別売 品を準備することをお勧めします。

記録紙をセットする

記録紙(A4 サイズのみ)は、64 g/m²の用紙で 50 枚までセットすることができます。 初めて本機を使用するときや、表示窓に記録紙が ないことを表す"<u>!</u>/ ↔ / /"が点滅していると きは、以下の手順で記録紙をセットしてください。

記録紙セット時のお願い

本機での複写を正しく行うために、以下のことをお守りください。

- 記録紙は、必ず A4 サイズのコピー用紙 (60~90 g/m²)を使用してください。
- 種類や厚さの異なる用紙を同時にセットしないでください。
 (紙詰まりの原因になります)
- 記録紙を追加するときは、本機の給紙力 バー内に残っている記録紙をすべて取り出 してください。(記録紙を取り出すときに少 し抵抗がかかりますが、そのまま引き抜い てください)
 取り出した記録紙と追加する記録紙を合わ

せてよくさばき、まっすぐそろえてセット してください。

以下のような紙は使用しないでください (紙詰まりの原因になります)

- 極端に滑らかな用紙や光沢のある用紙
- コート紙
- 感熱紙
- 折り目やしわのある用紙
- 片面が印刷されている用紙(裏紙)

1 電源コードをコンセントに差し込み、 電源キー ● を押す

- スクリーンフィルム面がホーム位置以外の場合は、ホーム位置まで移動して停止します。
- 表示窓に、記録紙がないことを表す
 ** !* (*→*) *!* (*^{*}*) が点滅します。

2 給紙カバーを手前に引いて開ける



3 重送などによる紙詰まり防止のため、 記録紙をさばき、まっすぐにそろえて から、内側のガイドに沿って奥まで入 れる



<u>お願い</u>

 記録紙は、必ず A4 サイズのコピー用紙(60 ~90 g/m²)を使用してください。

記録紙の上限

- 記録紙は、ガイド上の記録紙の上限(上図参照)を超えないようにセットしてください。 (64 g/m² 用紙で約 50 枚) (上限を超えると紙詰まりの原因になります)
- 4 給紙カバーを「カチッ」と音がするま で閉める
 - 表示窓に" /" が点灯します。



<u>お願い</u>

給紙カバーが閉まっていないと給紙できませんので、複写時は、必ず給紙カバーをしっかり閉めてください。

使

う

読み取る

スクリーンフィルム面に書かれた文字や絵を読み 取って、プリンターに複数枚複写したり、USBフ ラッシュメモリーやコンピューターにイメージ データとして保存することができます。 複数の読み取り先が同時に利用可能な場合は、読 み取り先は以下の優先順位になります。

- 1. コンピューター
- **2.** USB フラッシュメモリー
- 3. 内蔵プリンター

<u>お願い</u>

• 屋外、直射日光の当たる場所、窓ぎわの明るい 場所では使用しないでください。複写が白く なったり、黒くなったりすることがあります。

<u>お知らせ</u>

- USB フラッシュメモリーまたはコンピューター に読み取ってイメージデータとして保存する場合は、ファイル形式として PDF 形式または TIFF 形式を選択することができます。(☞ 29 ページ「ファイル形式設定」)
- イメージデータは USB フラッシュメモリーの以下のフォルダーに保存されます。
 UB-5335 の場合: "UB-5335"
 UB-5835 の場合: "UB-5835"
- イメージデータは USB フラッシュメモリーまた はコンピューターに以下の名前で保存されます。



MMDDHHxx.TIF (TIFF ファイル形式の場合)

- 使用検証済の USB フラッシュメモリーについて の情報は、以下のアドレスをご参照ください。 http://panasonic.biz/doc/eboard/ub-5335_info.html
- スクリーンフィルム面がホーム位置以外のときに、 操作パネルの電源キーを押して電源が入ると、 ホーム位置まで自動的に移動して停止します。
- 裏側のスクリーンフィルム面を読み取るときは、 正転送りキーを押して表側に移動させたあと、 複写キーを押して読み取ってください。

プリンターに複写する

スクリーンフィルム面に書かれた文字や絵を複写 します。

1 電源コードをコンセントに差し込み、 電源キー の を押す



- スクリーンフィルム面がホーム位置以外の場合は、ホーム位置まで移動して停止します。
- 表示窓に" ;" が点灯すれば複写できます。
- 複数枚複写する場合はマルチコピー/中止 キーを使って希望枚数に設定してください。 (印字枚数は9枚まで設定できます。)





- スクリーンフィルム面に書かれた文字や絵が 複写され、排紙口に排出されます。
- 排紙口には、20枚まで記録紙をためることができます。(20枚を超えると紙詰まりの原因になります。)
- 2 画面複写キーを押すとスクリーンフィルム 面の表側と裏側を1枚に並べて複写します。

<u>お願い</u>

- 本機で複写した用紙を裏紙として、本機や他のコピー機またはプリンターで使用しないでください。(印字品質への悪影響、紙詰まりや他機の故障の原因になります)
- 本機でプリントした記録紙の印字面を下にして、上から文字を書かないでください。印字面のインクが下のテーブルや紙などに写ります。

お知らせ

• 緑色や黄緑系統の色の文字や絵は、複写でき ないことがあります。

転写フィルムを交換する

残りの複写可能枚数が約15枚になると、フィル ム残量表示ランプが点滅を始めます。 表示窓に"Ⅱ ↔ ₽"が点滅すると、転写フィ

ルム切れで複写できません。本機をお買い上げの 販売店で別売の転写フィルムをお求めのうえ、以 下の手順で交換してください。

転写フィルム交換時のお願い

- 転写フィルムは、別売品(UG-6001)を使用してください。
 (別売品以外の転写フィルムを使用すると、印字品質への悪影響や故障の原因になります)
- 転写フィルムは使い捨てです。使用済みの転 写フィルムは、「プラスチック製品」として 地域条例に基づいて廃棄してください。
- 転写フィルムには、複写した内容が白抜きで 残ります。情報の保護のため、使用済みの転 写フィルムは、はさみなどで切って廃棄され ることをおすすめします。
- 転写フィルム交換時は、フィルム軸受け部の 取り付け部分を清掃してください。
- 1 プリンター部開レバーを下げてプリン ター部を開け、転写フィルムを取り出す



18ページの「転写フィルムを取り付ける」の手順3と4を行う

<u>お願い</u>

- プリンター部を閉めても "!! ↔ ??"の点 滅が消えないときは、転写フィルムにたるみ があるか、または正しい位置に取り付けられ ていません。転写フィルムのたるみおよび取 り付け位置が正しいかを確認してください。
- プリンター部が閉まっていないと正しく複写 できませんので、両方のラッチが掛かってい ることを確認してください。

使

う

記録紙が詰まったとき

記録紙が排紙口から出てこないときや、表示窓に 紙詰まりを表す"!! ↔ !?"が点滅していると きは、以下の手順で詰まった用紙を取り除いてく ださい。

1 プリンター部開レバーを下げ、プリン ター部を開ける



2 転写フィルムを取り出す



3 詰まった用紙をすべて取り除く



4 転写フィルムを取り付けて、プリン ター部を閉める

- 18ページの「転写フィルムを取り付ける」 の手順3と4を参照してください。
- 表示窓の "¦ ←→ []"の点滅が消え、
 " ¦" が点滅します。

お願い

- プリンター部を閉めて、表示窓に
 "!! ↔ ??"の点滅が表示されるときは、
 転写フィルムにたるみがあるか、または正しい位置に取り付けられていません。
 転写フィルムのたるみおよび取り付け位置が正しいかを確認してください。
- プリンター部が閉まっていないと正しく複写 できませんので、両方のラッチが掛かってい ることを確認してください。
- ・以上の手順を行っても"凵 ↔ 凵"の点 滅が消えないときは、正常に給紙されていない可能性があります。
 19ページを参考にして、再度記録紙をセットしてください。表示窓に"凵"が点滅し、その状態で再度複写キーを押すと印刷が再開されます。

USB フラッシュメモリーに 読み取る

- 1 電源コードをコンセントに差し込み、 電源キー 👌 を押す
- **2** USB フラッシュメモリーを USB フ ラッシュメモリー用 USB コネクター (A タイプ) に挿入する



 USB フラッシュメモリーが挿入されると、 表示窓に"[]_"の文字が点滅します。USB フラッシュメモリーが認識されると点滅が点 灯に変わります。

<u>お知らせ</u>

セキュリティ機能やハブ機能などの特殊な機能を持った USB フラッシュメモリーは使用できません。

3 複写キー 📵 を押す

 USBフラッシュメモリーへの読み取りが開始 され、表示窓に"[]]"の文字が点滅します。
 読み取りが完了すると、"[]"が表示された 後で"[]]"の点灯に変わります。

<u>お願い</u>

- "<u>[]</u>_"の点滅が点灯に変わるまで、USBフ ラッシュメモリーは抜かないでください。
- **4** USB フラッシュメモリーを本機より引 き抜く
- 5 USB フラッシュメモリーに記録された データを確認する
- 6 スクリーンフィルム面に書かれた文字 や絵を消す

コンピューターに読み取る

■コンピューターのシステム環境

| コンピューター | IBM [®] PC/AT 互換機 |
|------------------|--|
| インターフェース | USB 2.0 / USB 1.1 ^{** 1} |
| オペレーティング システム | Windows [®] XP ^{※ 2} (Service Pack 3 以降) Windows Vista ^{® ※ 3} Windows [®] 7 ^{※ 4} |

- ※1本機は Hi-Speed USB 2.0 に対応していません。 お使いのコンピューターが Hi-Speed USB 2.0 に 対応していても、本機は Full Speed USB 2.0 で 動作します。
- ※ 2 Windows XPの正式名称は、Microsoft[®] Windows[®] XP operating system です。
- ※ 3 Windows Vistaの正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating systemです。
- ※ 4 Windows 7の正式名称は、Microsoft[®] Windows[®] 7 operating system です。

■コンピューターを接続する

- 1 電源コードをコンセントに差し込み、 電源キー **し**を押す
- 2 電子黒板のコンピューター用USBコネ クター(Bタイプ)にUSBケーブル を接続し、反対側をコンピューターの USBコネクター(Aタイプ)に接続 する



- 電子黒板をコンピューターに接続すると、表示窓には"^P」"の文字が点滅します。正常に認識されると点滅が点灯に変わります。
- コンピューターでは電子黒板がリムーバブル ディスクとして認識され、そのドライブがエ クスプローラーで表示されます。

使

う

<u>お願い</u>

- USB ケーブルは付属されていません。
 USB-IF のロゴ認証された USB シールドケーブルをご使用ください。
- USB ハブは使用しないでください。USB ハブを 使用すると、誤動作を起こす可能性があります。
- 2台以上の電子黒板を1台のコンピューターに接続しないでください。(コンピューターの動作が 不安定になることがあります。)

■コンピューターに読み取る

1 複写キー 📵 を押す

 コンピューターへの読み取りが開始され、表示窓に"戸"の文字が点滅します。読み取りが完了すると"〔"が表示された後で "戸"の点灯に変わります。

<u>お願い</u>

- 読み取った画像ファイルをコンピューターに コピーするまで、コンピューターと接続した USB ケーブルは抜かないでください。 コンピューターに接続している USB ケーブ ルを抜くと、読み取った画像ファイルはすべ て消去されます。
- 2 コンピューターに表示されたリムーバ ブルディスクを開き、エクスプロー ラーの [表示]メニューから [最新の 情報に更新]をクリックする
 - Windows XP では、読み取った画像ファイ ルが表示されます。
 - Windows Vista および Windows 7 では、
 [最新の情報に更新する]ボタンをクリックします。
- 3 リムーバブルディスク内の画像ファイ ルをコンピューターのデスクトップま たはフォルダーにコピーする
 - 電子黒板のリムーバブルディスクには読み 取った画像ファイルを10ファイルまで保存 することができます。
 電子黒板で11ファイル目を読み取ると1 ファイル目の画像ファイルは消去されます。

- 4 コンピューターの画面上でコピーした 画像ファイルを開いて確認したあと、 スクリーンフィルム面に書かれた内容 をイレーサーで消す
 - コンピューターと接続している USB ケーブ ルは下記の手順で抜くことができます。
 - コンピューター画面右下の通知領域にあるハードウェアを安全に取り外すための アイコンを右クリックし、安全に取り外 すためのメニューをクリックする。
 - 2 機器の一覧が表示されたら取り外すデバ イスをクリックし、[停止] ボタンを クリックし、表示された画面で [OK] を クリックする。
 - 3 画面を閉じる。
 - 4 電子黒板とコンピューターを接続している USB ケーブルを抜く。
 - コンピューターに読み取られたファイルの情報については、 ☞ 20ページ。

本体を移動する

- オプションのスタンドをご使用の場合
- 1 電源キー 💿 を押して、電源をオフに する
- 2 電源コードをコンセントから抜く
 - コンピューターと接続している場合は、 USB ケーブルも外してください。
- 3 キャスターロックを解除する



4 衝撃や振動を与えないようにして、 2人で移動する

<u>お願い</u>

- 電源コードを引きずったり、踏んだりしない でください。



スクリーンの高さを調節する



オプションのスタンドをご使用の場合

スクリーンは一番低い位置を除いて3段階の高さ に調節できます。

スクリーン取付枠の一番低い位置はスクリーンを 組み立てる際に使用します。 次の手順にしたがって、スクリーンの高さを調節

してください。

1 キャスターがロックされていることを 確認して、高さ調節ネジをゆるめる



2 足掛け工具を補強バーに掛ける



3 足掛け工具を足で踏んでスクリーン 取付金具(下)を持ち上げる

- スライド溝に沿ってスライドさせます。
 ①:電子黒板の高さを下げる
 ③:電子黒板の高さを下げる
- 電子黒板の高さを上げる



4 スライド溝のちょうどよい高さの スロットにスクリーンを掛ける

| スロット | 調節 | スクリーンの高さ |
|-------|----|----------|
| スロットA | 可 | 2,000 mm |
| スロットB | 可 | 1,875 mm |
| スロットC | 可 | 1,750 mm |



5 高さ調節ネジをしめる



6 足掛け工具をスクリーン取付金具(上) に掛けて収納する



設定する

操作パネルから、本機の各種機能を設定すること ができます。

お知らせ

• [設定する] (28~30ページ)の手順では、 キーのなまえを省略し、操作パネル上のイラス トで説明しています。

基本設定のしかた

設定の前に、のを押して電子黒板の電源を入れて ください。



- 1 🔳 を押す
 - 設定モードに入り、表示窓に" 🔐 "が点灯 します。

2 国または 回を押して設定したい項 目を選ぶ

| 表示窓 | 項目 | 設定値(太字 は初期値) |
|------------------|--------------------------|-----------------------------------|
| <u>Ā</u> ū | 時刻表示 設定 | なし / あり |
| 5 ⁰ | ファイル 形式設定 | PDF/TIFF |
| Ĺ | 時刻設定 | 年・月・日・時・分を 順に設定する |
| ت ⁽¹⁾ | 自動パワー オフ設定 | 電源が自動的に切れる / 電源キーで電源を切る |
| Ea | 出力サイズ 設定 [※] | 縦方向に拡大 / 等倍 |

※ UB-5835 のみ使用できます。

お知らせ

• 時刻設定については、☞ 30ページ。

3 🖾 を押して設定を変更する

- 5/2 を押すごとに設定が切り替わり、表示窓 の表示が変わります。
 - (例)時刻表示なし: 👰 時刻表示あり: Ba

4 🖸 を押す

レディモードに戻ります。

時刻表示設定

読み取ったイメージに時刻を入れるかどうかを設 定することができます。



[なし]

1 🔳 を押す

• 設定モードに入り、表示窓に" 🖓 "が点灯 します。

2 🚾 を押して設定を変更する

• 🏂 を押すごとに設定が切り替わり、表示窓 の表示が変わります。

| 表示窓 | 設定 |
|-----------|--------|
| <u>Ao</u> | 時刻表示なし |
| Ao | 時刻表示あり |

3 **O**を押す

レディモードに戻ります。

ファイル形式設定

USB フラッシュメモリーやコンピューターに保存 するファイル形式を設定することができます。

1 🔳 を押す

設定モードに入り、表示窓に" <u>P^Q</u>"が点灯します。

2 💷 または 💷 を押して " b?" を選ぶ

3 💁を押して設定を変更する

• 2 を押すごとに設定が切り替わり、表示窓 の表示が変わります。

| 表示窓 | 設定 | |
|------------|-------------|--|
| <u>5</u> 0 | ファイル形式:PDF | |
| bo | ファイル形式:TIFF | |

4 🖸 を押す

レディモードに戻ります。

自動パワーオフ設定

電源を切るときの動作を設定します。

1 🔳 を押す

- 設定モードに入り、表示窓に"^{PQ}"が点灯 します。
- 2 💷 または 💷 を押して " 🖓"を選ぶ

3 💁 を押して設定を変更する

• 🧏 を押すごとに設定が切り替わり、表示窓 の表示が変わります。

| 表示窓 | 設定 |
|-----------------|--------------------------------------|
| ت ^{ری} | 使用しない状態が約 1 時 間続くと、電源が自動的に 切れる |
| da | 電源キーで電源を切る |

4 🖸 を押す

レディモードに戻ります。

出力サイズ設定

読み取ったイメージの出力サイズを縦方向に拡大 または等倍に設定できます。



[縦方向に拡大]



1 🔳 を押す

 設定モードに入り、表示窓に" <u>P^Q</u>"が点灯 します。

2 💷 または 💷 を押して " 🖓 "を選ぶ

3 🖾を押して設定を変更する

 ・ を押すごとに設定が切り替わり、表示窓
 の表示が変わります。

| 表示窓 | 設定 |
|-----|--------------|
| Eo | 出力サイズ:縦方向に拡大 |
| Ea | 出力サイズ:等倍 |

4 🖸 を押す

レディモードに戻ります。

お知らせ

- 出力サイズ設定は、UB-5835 でのみ設定可能 です。UB-5335 では表示されません。
- 2 画面複写時は、出力サイズは常に「縦方向に 拡大」で複写されます。



• 国 または 図 を押し続けると、数値を 10 単位 で変更できます。

日常のお手入れ

本体および本体内部を清掃するときは、必ず電源 プラグをコンセントから抜いてください。



水にぬらしてよくしぼった柔らかい布で、軽くふ いてください。

トレイの溝に入ったごみは柔らかいブラシなどで、 取り除いてください。

<u>お願い</u>

- 落ちにくい汚れには水で薄めた台所用中性洗剤 を使用してください。台所用中性洗剤を使用し た場合は、その後洗剤を十分に水でふき取って ください。
- 誤って市販の油性マーカーで書いた場合、換気 をよくして少量のエチルアルコールでふき取っ てください。
- シンナーやベンジン、研磨剤または界面活性剤 入りの洗剤などは使わないでください。(変色や 消去不良の原因になります)
- 乾いた布でスクリーンフィルム面をふかないで ください。(静電気が発生し、本機の誤動作の原 因になります)

イレーサー(黒板消し)の お手入れ

イレーサーの消去面が汚れてふき取りにくくなったら、指で下層のシートを押さえ、汚れたシート (白またはグレイのシート)を矢印の方向に引いて 1枚はがしてください。



<u>お願い</u>

- 白またはグレイのシートを1枚だけはがすよう に注意してください。
- イレーサーが薄くなったら、消すときにイレー サーの角がスクリーンフィルム面に当たらない ように注意してください。(スクリーンフィルム 面を傷つけることがあります)



複写した用紙にしまや線が残る場合は、プリン ターヘッド部およびプラテンローラーを清掃して ください。 紙詰まりが頻繁に発生する場合は、給紙ローラー

私品よりが娯楽に光生りる場合は、 和私ロー ノー を清掃してください。

1 記録紙を取り出し、プリンター部開レ バーを下げ、プリンター部を開ける







<u>お願い</u>

 プリンターヘッド部には、直接手を触れない でください。(複写できなくなることがあり ます) 使

う

困ったとき

- 3 プラテンローラー・給紙ローラーの清掃 転写フィルムを取り出したあと、プラ テンローラーと給紙ローラーの汚れを ていねいにふき取る
 - 転写フィルムの取り出しかたは、☞ 21 ページ。
 - 柔らかい布に水で薄めた台所用中性洗剤を含ませて固くしぼったあと、ローラーを回転させながら表面全体をふいてください。
 汚れが取れないときは、エチルアルコールを含ませた布でふいてください。



4 転写フィルムを元の位置に取り付け、 プリンター部を閉め、記録紙をセット する

- 転写フィルムの取り付けかたは、☞ 18ページ。
- プリンター部の左右のラッチが「カチッ」と 音がするまでしっかりと閉めます。



<u>お願い</u>

- プリンター部を閉めて、表示窓に
 "!! ↔ !?"の点滅が表示されるときは、
 転写フィルムにたるみがあるか、または正しい位置に取り付けられていません。転写フィルムのたるみおよび取り付け位置が正しいかを確認してください。
- プリンター部が閉まっていないと正しく複写 できませんので、両方のラッチが掛かってい ることを確認してください。

電池交換

本体の電源を入れるたびに時刻設定メニューに入るときは、時計用の電池が消耗しています。以下の手順で電池を交換した後、時刻設定 (w 30ページ)を行ってください。

1 操作パネル横のネジ(1か所)をゆる め、電池ホルダーを取り外す



<u>お願い</u>

- 他のネジはゆるめないでください。
- 2 古い電池を外し、新しい電池の (十)表 示面を上にして取り付ける



3 電池面を上にして電池ホルダーを取り 付け、手順1でゆるめたネジを締めつ ける

4 時刻を設定する

(1137 30 ページ)

 表示窓に2けたの数字が表示される場合は、 「時刻設定」の手順4から行ってください。

<u>お願い</u>

 使えなくなった電池は、速やかに取り出し、 テープなどで端子部を絶縁し、地域で定められ た方法に従って処理してください。

故障かなと思ったとき (簡単なトラブル点検)

下表に従って処置してください。直らない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

| 症状 | 原因と処置 | 参照 ページ |
|---|---|-----------|
| 電源キーを押しても表示 が点灯しない | 電源プラグが確実に差し込まれているか確認する (それでも点灯しないときは、電源プラグをいったん抜いて、2 秒以 上待ってから差し直してください) | _ |
| スクリーンフィルム面に 書いた文字が消えにくい | 水を浸した布をよくしぼってふいてください。水で消えにくいときは、少量のエチルアルコールでふき取ってください。 文字や線は、ゆっくり書いてください。はやく書いた文字や線は消えにくくなることがあります。 文字や線を消すときは、マーカーのインキが十分乾いた状態で消してください。 界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。文字や線が消えにくくなることがあります。 | _ |
| スクリーンフィルム面に 書いた文字の端が読み取 られない | 読み取られない部分に文字を書いている → 複写可能範囲内に文字を書いてください。 | 10 |
| | 記録紙や転写フィルムがなくなっている(エラー表示 ["] [<i>]</i> ↔ <i>'</i> <i>'</i> や <i>'</i> [<i>'</i> か点滅) → 記録紙を入れる、または転写フィルムを交換してください。複 写キーを押すと複写を再開します。 | 19 21 |
| | プリンター部が開いている(エラー表示 "Ц ↔ 円"が点滅) →「カチッ」と音がするまで、しっかり閉めてください。複写キー を押すと複写を再開します。 | 18 |
| 複写した記録紙が出てこ ない | 給紙カバーが開いている ➡ 給紙カバーをしっかり閉めてください。 | 19 |
| | 記録紙がプリンター内部に詰まっている(エラー表示" <u>!</u> ! ↔ [] " が点滅) → プリンター部を開け、詰まった用紙を取り除いてください。複 写キーを押すと複写を再開します。 | 22 |
| | プラテンローラーや給紙ローラーが汚れている → プリンター部を開け、プラテンローラーと給紙ローラーの汚れ をふき取ってください。 | 31 |
| 複写後の記録紙が | スクリーンフィルム面への記入が細い、または薄い ➡ 太く、濃く書くか、新しいマーカーに取り替えてください。 | _ |
| 白い / 薄い / かすれる | プリンター部が少し開いている →「カチッ」と音がするまで、しっかり閉めてください。 | 18 |
| 記録紙にしまや線や印字 抜けが出る(記録紙が汚 | プリンターヘッドやプラテンローラーが汚れている → プリンター部を開け、プリンターヘッドとプラテンローラーの 汚れをふき取ってください。 | 31 |
| れる) | 転写フィルムがたるんだまま取り付けられている → 転写フィルムのたるみをなくし、再度取り付けてください。 | 18 |
| 黒や白の横線が出る、 またはページが印刷され ない / 黒く印刷される | 本機に直射日光や強い光が当たっている → 本体の方向を変えるか光を遮ってください。 | _ |

困ったとき

故障かなと思ったとき(簡単なトラブル点検)

| 症状 | 原因と処置 | 参照 ページ |
|---|---|-----------|
| プリンターに複写できな | USB フラッシュメモリーが挿入されている → USB フラッシュメモリーを抜いてください。 | |
| し | コンピューターが接続されている →コンピューターとの接続を外してください。 | 20 |
| 複写キーや正転送りキー を押してもスクリーン フィルム面が動かない | スクリーンフィルム面をふいたときに、静電気が発生している → 電源プラグを抜いて、スクリーンフィルム面を手でゆっくりと 左方向へ動かしてください。 | _ |
| フィルム残量表示ランプ が点滅している | 転写フィルムの交換時期が近づいている (点滅を始めると、残りの複写可能枚数は約15枚です。) → 新しい転写フィルム(UG-6001)を用意してください。 | |
| USB フラッシュメモリー を認識しない | セキュリティ機能やハブ機能を持つものなど、本機で使用できない USB フラッシュメモリーである → 使用できない USB フラッシュメモリーの条件、および使用検証 済の USB フラッシュメモリーについての情報は、以下のアドレ スをご参照ください。 http://panasonic.biz/doc/eboard/ub-5335_info.html | 23 |
| | USB フラッシュメモリーを USB ハブを通して接続している → USB ハブを通して接続しないでください。 | _ |
| USB フラッシュメモリー を認識するのに非常に時 間がかかる | USB フラッシュメモリーが FAT32 でフォーマットされた直後である → 一度ファイルが書き込まれると、次回から時間がかからないよ うになります。 | _ |
| コンピューターが本機を | コンピューター用 USB ケーブルが正しく接続されているか、また は本機が動作できる状態になっているか確認してください。 | 23 |
| 認識しない | 本機を USB ハブを通して接続している → USB ハブを通して接続しないでください。 | _ |
| コンピューターへの読み 取り後に画像ファイルが 表示されない | Windows XPでは、コンピューターに表示されたリムーバブル ディスクを開き、エクスプローラーの[表示]メニューから[最新 の情報に更新]をクリックしてください。 Windows Vista および Windows 7 では、[最新の情報に更新する] ボタンをクリックしてください。 | 24 |

こんな表示が出たら

表示窓に以下の記号が点滅したときは、下表に従って処置してください。

| 表示 | 原因と処置 | 参照 ページ |
|----------|--|-----------|
| !! ⇔ ! ! | 記録紙がなくなっている → 記録紙を補充してください。 | 19 |
| ∐ ⇔ 2 | 転写フィルムがたるんでいる、転写フィルムがなくなっている、または転写 フィルムが取り付けられていない → 転写フィルムのたるみを取り除いてください。または、転写フィルムを交換 / 取り付けてください。 | 18 21 |
| [] ⇔ [] | 紙詰まりが発生している → プリンタードアを開け、詰まった用紙を取り除いてください。 | 22 |
| !: ⇔ !! | プリンタードアが確実に閉まっていない → プリンタードアを確実に閉めてください。 | 18 |
| | 使用できない USB フラッシュメモリーがセットされている → セキュリティ機能やハブ機能などの特殊な機能を持った USB フラッシュメ モリーは使用できません。 | _ |
| ∐ ⇔21 | 対応していない FAT16 形式でフォーマットされた USB フラッシュメモリー がセットされている → コンピューターを使用して FAT32 形式でフォーマットを行ってください。 フォーマットを行うと USB フラッシュメモリーのデータはすべて消去され ます。必ずデータをバックアップしてからフォーマットを行ってください。 | _ |
| | ライトプロテクトされた USB フラッシュメモリーがセットされている → ライトプロテクトを解除してください。 | _ |
| U ⇔22 | USB フラッシュメモリー内の以下の保存フォルダーが読み取り専用に設定され ている UB-5335: "UB-5335" UB-5835: "UB-5835" → 保存フォルダーを書き込み可能に設定してください。 | _ |
| U ⇔23 | ファイル名の通し番号が最大(99)に達した → USB フラッシュメモリーの以下のフォルダー中の画像ファイルを他の場所 に移動してください。* UB-5335: "UB-5335" UB-5835: "UB-5835" | 20 |
| | USB フラッシュメモリーの空き容量が不足している → コンピューターを使用して、空き容量を増やしてください。* | |
| | USB フラッシュメモリーへの読み取り中に容量不足が発生した → コンピューターを使用して空き容量を増やし、再度読み取ってください。* | |
| ∐ ⇔25 | USB フラッシュメモリーへの書き込み異常が発生した → コンピューターを使用して USB フラッシュメモリーに正常に書き込めるか 確認してください。 [*] | _ |

困ったとき

故障かなと思ったとき(簡単なトラブル点検)

| 表示 | 原因と処置 | 参照 ページ |
|-----------|--|-----------|
| !! ⇔₽5 | USB フラッシュメモリーへの読み取り中に USB フラッシュメモリーが取り出 された → USB フラッシュメモリーを挿入して、再度読み取ってください。 [※] | _ |
| | コンピューターへの読み取り中に USB ケーブルが抜かれた → USB ケーブルを確実にコンピューターに接続し、再度読み取ってください。* | 23 |
| !! <⇒] ! | スクリーンフィルム面が動かない → スクリーンフィルム面に貼ってあるチャート用紙などをはがし、手でゆっく りと動かしてください。* | _ |
| [] ⇔]]2 | イメージセンサーまたはスクリーンフィルム面に直射日光や強い光が当たっている → 本体の方向を変えるか光を遮ってください。* | _ |
| U ⇔33 | スクリーンフィルム面の複写可能範囲外に書き込みをしているか、その部分が 汚れている → 正転送り後、スクリーンフィルム面が停止した位置から、右方向に 20 cm くらいスクリーンフィルム面を手で移動させ、出てきた面全体の書き込みを 消去または清掃してください。(表側、裏側とも)* | 10 |

• " 「 !" ~ " 「 !" の表示が出た場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※ "IJ ⇔ 23" ~ "IJ ⇔ 25" および "IJ ⇔ 31" ~ "IJ ⇔ 33" が表示された場合、濃度切替キーを押し てエラー表示を解除したあとに処置してください。

仕様

| | 品番 | UB-5335 | UB-5835 | |
|--------------------|-----------------------------|---|---------------------|--|
| | 電源 | 交流 100 V、50 Hz/60 H | Hz | |
| 概要 | 消費電力 | アクティブモード: 70 W レディモード: 3 W オフモード: 0.5 W | , | |
| | 外形寸法: 縦×横×幅(mm) (スタンドなし) | 1,334 × 1,372 × 212 | 1,334 × 1,735 × 212 | |
| | 質量: 取付け金具使用時 (スタンドなし) | 25 kg | 27 kg | |
| | 使用環境条件 | 周囲温度: 10 ℃~35 ℃ | 、湿度:30 %~80 % | |
| | 時計用電池 | リチウムボタン電池(CR20 | 032)×1個 | |
| | 筆記具 | マーカー(黒)(同梱) | | |
| | 画面サイズ:縦×横(mm) | 900 × 1,262 | 900 × 1,625 | |
| | 画面数 | 2画面(罫線入り) | | |
| 入力部 | 画面送り方式 | スクリーン移動方式 1 方向エンドレス駆動 | | |
| | 複写可能範囲:縦×横(mm) | 850 × 1,250 | 850 × 1,613 | |
| | 読み取り方式 | 密着型イメージセンサーアレイ方式 | | |
| | 記録方式 | 溶融型熱転写記録方式 | | |
| | 記録用紙 | 普通紙 · 再生紙(60 ~ 90 g/m ²) | | |
| | 記録紙サイズ(mm) | A4 判(縦210×横297) | | |
| | 記録密度 | 203 dpi (8 ドット /mm) | | |
| プリンター | 複写色 | 黒 | | |
| 出力部 | 濃度調整 | 標準 / 濃い 2段階切替 | | |
| | 2 画面圧縮コピー | あり | | |
| | 所要複写時間 | 約 20 秒 / 枚(1 画面) | | |
| | 連続複写枚数 | 1~9枚 | | |
| | 用紙切れ警報機能 | あり | | |
| USB | インターフェース | Full Speed USB 2.0 | | |
| フラッシュ メモリー | 対応フォーマット | FAT (FAT16)/FAT32 フォー | -マット (最大容量:32 GB) | |
| 出力部 | 保存ファイル形式 | PDF/TIFF | | |
| | インターフェース | Full Speed USB 2.0 | | |
| コンピュー ター 出力部 | 対応 OS | Windows [®] XP(Service Pack 3 以降)/ Windows Vista [®] /Windows [®] 7 | | |
| 山八部 | 保存ファイル形式 | PDF/TIFF | | |

仕様

別売品

| オプション機器 | スタンド | UE-608005 | | |
|---------|---------------|--|--|--|
| | 転写フィルム | UG-6001(50 m 巻き 2 本セット) | | |
| 消耗品 | マーカー | KX-B031N (黒 10 本セット) KX-B032N (赤 10 本セット) KX-B033N (青 10 本セット) | | |
| | イレーサー | KX-B042N(6 個セット) | | |
| | マーカー・イレーサーセット | KX-B035N(マーカー黒・赤・青各 1 本、イレーサー 1 個) | | |

• 別売品の購入は、電子黒板をお買い上げの販売店までご連絡ください。

• 電池は市販品(CR2032)をお買い求めください。



■まず、お買い上げの販売店へ 、 ご相談ください。

などは…

▼お買い上げの際に記入されると便利です

| 販売店名 | | | | | |
|--------|---|---|---|---|--|
| 電話 | (|) | _ | | |
| お買い上げ日 | | 年 | 月 | 日 | |

(よくお読みください)

修理を依頼されるときは…

「故障かなと思ったとき(簡単なトラブル点検)」(33~36ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張 修理いたします。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

ただし、転写フィルム、マーカー、イレーサー およびリチウム電池は消耗品ですので、保証期 間内でも「有料」とさせていただきます。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

| 技術料 |
|------|
| 部品代 |
| 山戸町北 |

診断・修理・調整・点検などの費用 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

*補修用性能部品の保有期間 5年

当社は、この電子黒板の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

| 製品名 | 電子黒板 |
|-------|--------------------|
| 品番 | UB-5335 UB-5835 |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に |

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。 製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問 合せください。



■本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。
 This product is designed for use in Japan.
 Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

パナソニック システムネットワークス株式会社

関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号 © Panasonic System Networks Co., Ltd. 2012



PNQF1013ZA F0212NS0